

2019 年度繊維学会年次大会開催を迎えるにあたって

実行委員長 斎藤 拓

繊維学会年次大会へ参加されている皆様におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。今回は平成から令和へと元号が変わって初めての大会になります。本大会は6月5日（水）午前から7日（金）午後まで行われ、ポスター発表を含めて321件の講演・発表を予定しています。

今回の年次大会では9つの一般セッションに2つの特別セッションを加え、11のセッションを設けています。セッションは化学合成から物理、機能、成形・加工、染色、テキスタイル、バイオに至る広い分野を網羅しており、各セッションに1件以上の特別あるいは招待講演を入れています。特別講演では「下町ロケット」のモデルになった大阪医科大学の根本慎太郎先生に「メディカルイノベーションという endurance～リアル下町ロケット2（ガウディ計画）～」、J-PARC・MLFの金谷利治先生に「10周年を迎える J-PARC 物質生命科学実験施設（MLF）の現状と繊維・高分子科学」に関する講演をして頂く予定です。招待講演には、それぞれの分野で際だった製品開発や研究を行っている講師の先生を、産業界から8名、大学から3名、お招きしています。

今回のプログラムでは、同じ時間帯にどのような講演が行われているかを一目で見ることができ、全ての講演を鳥瞰できて異分野の講演タイトルも目に入るようになっていきます。是非とも広い視野でプログラムを眺めて、積極的に異分野のセッションの講演・発表を聴いて下さい。異分野の講演・発表を聴くことで思いがけないヒントが浮かぶかもしれません。異分野の方のご参加を促すために「ナノファイバー」と「ミルフィーユ構造の材料科学」の2つの特別セッションを設けています。例えば「ミルフィーユ構造の材料科学」では、金属と高分子の分野の発表が交互に行われる異分野交流セッションになっています。交流の場としては、初日（5日）に「懇親会」（2階の桃源）、2日目（6日）に「ワインパーティー」（2階の蓬莱）も設けています。無料参加の「ワインパーティー」では若手優秀ポスター賞の受賞者への表彰式も行います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

初日と2日目に1階の展示ホールにおいて、(株)アントンパール・ジャパン、三洋貿易(株)、ジャパンハイテック(株)、(株)トリニティーラボ、中村科学器械工業(株)、(株)メック、(株)パーキンエルマー・ジャパン、マイクロトラック・ベル(株)、データカラー・アジアパシフィック (HK) リミテッド、(株)グロッツベッケルト ジャパンの10社様による企業展示がありますので、是非ともご覧になって下さい。また、日本製紙(株)、東洋紡(株)、三菱ガス化学(株)、KBセーレン(株)、東レ(株)、帝人フロンティア(株)、竹田理化工業(株)、住友精化(株)、(株)東レリサーチセンター、三菱ケミカル(株)、(株)クラレ、日清紡テキスタイル(株)、花王(株)、ユニチカ(株)、東ソー(株)の15社様からの広告宣伝を頂きました。出展あるいは広告宣伝を出して頂いた25企業様に厚く御礼申し上げます。

本大会の予稿集はCD-ROMで配布していますが、会期中にWEBからのダウンロードも可能です。1階、4階、5階の会場ではWifiも利用できます。会場で困ったことがあれば、遠慮なく受付にお問い合わせ下さい。最後に、本大会の準備と開催に際して、4名の副実行委員長、24名の実行委員、繊維学会事務局、さらに大会担当理事の戸木田先生のご尽力に対して心から感謝致します。